vinetur

アンジェロ・ガヤ、ロンドンでゴールデン・ヴァインズの殿堂入り

イタリアワインへの長年の貢献、とりわけバルバレスコとランゲの国際的な認知拡大に果たした役割が評価された

2026年11月16日（月）



11月7日にロンドンで開かれたゴールデン・ヴァインズ・アワードでは、注目度の高い主要賞のうち2つをイタリアの生産者が獲得した。アンジェロ・ガヤが殿堂入りを果たし、ジャコモ・コンテルノは欧州最優秀ファインワイン生産者に選ばれた。

バンケティング・ハウスで開催された同賞は、ゴールデン・ヴァインズ・アカデミーが主催する。主催者によると、同アカデミーはファインワインや希少なスピリッツに携わる専門家、ワイン商、批評家、教育関係者、コレクターら約1,300人で構成される国際的なグループだ。2021年に始まったこのイベントでは、業界賞の授与に加え、ジェラール・バセット財団への寄付を募るチャリティーオークションも行われる。

イタリアワインを代表する知名度の高い生産者の一人であるガヤは、業界に長年影響を与えてきたこと、またピエモンテのワイン、とりわけバルバレスコとランゲを幅広い国際市場に紹介する一翼を担ったことが評価された。殿堂入りにより、単年度の実績ではなく、生涯にわたる貢献をたたえられた数少ない人物の一人となった。

ロベルト・コンテルノが率いるピエモンテのワイナリー、ジャコモ・コンテルノは、欧州最優秀ファインワイン生産者賞を受賞した。同ワイナリーは、バローロや、イタリアを代表するコレクターズワインの一つであるモンフォルティーノで広く知られている。主催者によれば、この賞は品質と影響力を長年にわたって維持してきた生産者を評価するもので、同ワイナリーは欧州の他の生産者を抑えて選ばれた。

今回の受賞では、スペイン、南アフリカ、アルゼンチン、日本、ポルトガル、スウェーデンの主要生産者も表彰され、イタリア勢の結果が際立った。スペインのアルバレス家が所有するベガ・シシリアは、世界最優秀ファインワイン生産者に贈られるVino de Franciscus賞を3年連続で受賞し、この部門のスター的存在となった。南アフリカでは、マリュルー&リー・ファミリー・ワインズがRobb Report世界最優秀ライジングスター賞を2度目の受賞。ザ・サディ・ファミリー・ワインズは「その他の地域」部門の最優秀ファインワイン生産者に選ばれた。南北アメリカでは、アルゼンチンのカテナ・サパータが最優秀ファインワイン生産者賞を受賞。日本の山崎は世界最優秀希少スピリッツブランドに選ばれた。スウェーデンのStar Wine Listは革新性を評価され、ポルトガルのSymington Family Estatesはサステナビリティ賞を受賞した。

ゴールデン・ヴァインズ・アワードは、生産者やブランドを評価するだけでなく、故ジェラール・バセット氏を記念して設立された財団の資金調達の場としても位置づけられている。バセット氏はソムリエとして、またホスピタリティ業界の人物として活躍した。主催者によると、11月7日のオークションでは110万ポンドが集まり、ワイン、スピリッツ、ホスピタリティ業界への参入を目指す、これまで十分に代表されてこなかった人々や経済的に恵まれない人々を支援する奨学金、助成金、メンタリングプログラムに充てられる。

こうした慈善活動は、イベントの中核的な特徴となっている。主催者によると、これまでの全開催分を合わせた寄付総額は600万ポンドに迫る。ゴールデン・ヴァインズを手がける企業Liquid Iconsの共同創業者兼最高経営責任者、ルイス・チェスター氏は声明で、同賞はファインワインと希少なスピリッツの基準を築く人々や生産者をたたえるために設けられたと説明した。また、オークションを通じて、その評価を次世代への長期的な支援につなげていると述べた。

オークションではイタリアのワイナリーも存在感を示した。アレッサンドロ・モーリとヤコポ・モーリが運営するモンタルチーノのワイナリー、イル・マロネートは2万ポンドを集めた。現在はフランスのグループEpiが所有する、ブルネッロ・ディ・モンタルチーノの歴史あるワイナリー、ビオンディ・サンティ・テヌータ・グレッポの出品ロットは1万2,500ポンドで落札された。オルネッライアとエミディオ・ペペのロットは、それぞれ1万500ポンドを集めた。

ワインのロットで最高額となったのは、ドン・ペリニヨンの7万5,000ポンドだった。ただし、全体で最高額の入札は、Slate Aviationが提供したプライベートジェット旅行体験に対する12万5,000ポンドだった。主催者によると、このパッケージにはチャレンジャー850でのフライトと、米国およびカリブ海地域での豪華な体験が含まれていた。

式典は、ロンドンで3日間にわたって開かれたプログラムの最終行事で、プログラムには生産者、コレクター、その他のゲストを対象とした試飲会、マスタークラス、ホスピタリティイベントが含まれた。ガラディナーでは、シェフのサイモン・ローガンが考案したメニューが提供され、英国人歌手クレイグ・デイヴィッドのパフォーマンスも行われた。

イタリアにとって今回の結果が示した最も大きなメッセージは、同国を代表するワイナリーが国際的な評価を維持していることだ。ガヤの殿堂入りは、現代イタリアのファインワインを海外に広めるうえで貢献した生産者をたたえるものとなった。ジャコモ・コンテルノの欧州タイトルは、世界有数のコレクターズワインとしてのバローロの地位を示すとともに、世界の高級ワイン市場の中心にピエモンテがあることを改めて印象づけた。

主催者によると、次回の授賞式はアムステルダムで開催される。